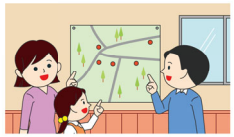
保存版

松戸市

内水ハザードマップ

いざという時に確認できるように
他の防災マップと併せて保管しましょう

内水ハザードマップとは



内水ハザードマップは、下水道(雨水管)の能力を超える集中豪雨などの大雨に対して、市民の皆様に日頃からの備えや対策をとっていただくために作成したものです。

このマップを活用し、ご自宅などで浸水するおそれがないか、避難場所などと併せて確認し、日頃から大雨による浸水被害に備えましょう。

問い合わせ先

やさシティ、まつど。 matsudo

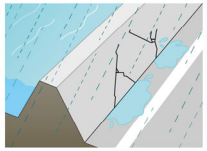
問い合わせ先
松戸市　建設部　下水道整備課
千葉県松戸市根本387番地の5 別館3階
TEL.047-366-7361　FAX.047-363-6779

令和6年(2024年)3月版

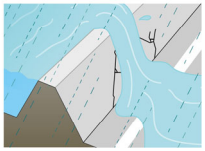
1. 内水氾濫とは

洪水(外水氾濫)

大雨などによって、川の水が増え、水かさが上がり始めます。



堤防いっぱいまで水が増えると、堤防に水の圧力がかかり始めます。



水が増え、水の力に堤防が耐えられなくなり堤防の一部が崩れ始めます。

崩れた場所を通り、勢いよく水が流れ出し、家などに襲いかかります。

洪水の詳細については、『水害ハザードマップ』を QR コードよりご覧ください。

内水氾濫

街などに降った雨は、下水道(雨水管)などを通って川に排水されます。

大雨が降ると川の水位があがり、排水されにくくなり、下水道(雨水管)などからあふれてしまいます。

大雨が降ったとき、道路の側溝にゴミなどが詰まり、排水されずに道路が冠水します。

高速道路や鉄道の高架下など道路が低くなっている所に、雨水がたまり冠水します。

- 洪水(外水氾濫)とは、大雨によって河川などの水位が高くなることで堤防を越えて水があふれたり、堤防の土砂が流出して決壊したりすることです。
- 内水氾濫とは、雨の量が下水道などの排水施設の能力を超えるときや、河川などの排水先の水位が高くなったときに雨水を排水できなくなり、マンホール、側溝や水路などから水があふれて、浸水することです。あふれた水はアンダーパスなど低い場所に溜まりやすいので注意が必要です。

2. 内水氾濫に備える

気象情報の確認

大雨に関する気象情報を得たり、冷たい風が吹き始めるなど、大雨が予想されるときは、テレビやラジオなどで天気予報に注意し、天気の移り変わりに気をつけましょう。

側溝の清掃

道路ます等がゴミや落ち葉で詰まると雨水が排水できず、浸水が発生する場合があります。近くの道路ます周辺の清掃にご協力をお願いします。

内水ハザードマップの確認

内水ハザードマップを用いて、自宅付近の、浸水想定の状況を確認しましょう。次に、自宅付近の避難場所のマークを確かめ、浸水が深い場所や、危険な場所を避けて避難経路を確認しましょう。

防災関連の情報入手

防災関連の最新情報は松戸市公式ウェブサイト等でご覧ください。

松戸市公式ホームページ
https://www.city.matsudo.chiba.jp/

松戸市公式X（旧 Twitter）
https://twitter.com/matsudo_city

松戸市公式Facebook
https://www.facebook.com/matsudocity/

災害情報をメール配信していますので、ぜひ、ご登録ください。

松戸市安全安心メール
https://service.sugumail.com/matsudo/

ちば防災メール
http://chibapref3.bosai.info/chiba/mobile/bosaimail.cgi

「防災行政用無線(防災無線)」でも情報を発信していますが、再生、放送内容を確認したいときは、下記の電話番号までご連絡ください。

防災行政用無線音声自動応答
(フリーダイヤル) 0800-800-9366
※毎日午後2時と夕方に放送している定時放送には対応していません。

3. 内水氾濫に関する情報

雨量	少ない		大雨・洪水注意報	大雨・洪水警報	大雨特別警報 多い
1時間雨量(mm)	10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上～
雨の強さ	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
雨の降り方	ザーザーと降る。地面からの跳ね返りで足元がぬれる。	どしゃ降り。側溝や小さな川などからあふれはじめる。	バケツをひっくり返したように降る。道路が川のようになる。	ゴーゴーと滝のように降る。マンホールから水が噴出する。	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。
市民の行動	気象情報やハザードマップを確認しましょう。		早めの準備。浸水想定区域に住んでいる方は家庭でできる対策をしましょう。	浸水想定区域に住んでいる方は避難情報に注意しましょう。避難場所が浸水して利用できない場合も想定されますので、避難のときには、正確な情報を収集し、危険な場所に近づかないようにしましょう。	
内水浸水想定	浸水深の凡例：3.0m以上／1.0m以上～3.0m未満／0.5m以上～1.0m未満／0.3m以上～0.5m未満／0.3m未満 ※雨の強さに応じた浸水の深さについては、松戸市のホームページからもご覧いただけます。				

4. 内水氾濫の防災と避難

家庭でできる対策

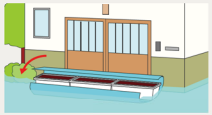
長めの板と土のう

土のうを作り、長めの板などと組み合わせて、家屋への水の流入を防ぐことができます。

水を入れた袋とダンボール

水を入れたポリ袋をダンボールに入れてならべます。

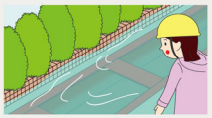
プランターやポリタンクとレジャーシート



プランターやポリタンクをならべ、レジャーシートで包みます。

危険箇所

水路周辺



水路には、ガードレールなどの柵がない場合があります。浸水時には、水路の場所がわからず誤って流される危険がありますので、近づかないようにしましょう。

アンダーパス

地下道や地下歩道などの低い場所は、浸水時には、周辺から水が流れ込んで冠水する恐れがあり危険ですので、近づかないようにしましょう。

屋内での避難

2階以上へ避難

急な豪雨が降ってきたら無理に外に避難せず、2階以上の高い場所に移動して雨がおさまるのを待ちましょう。

地下は危険

地下は危険ですので近づかないようにしましょう。地下から地上へ避難する場合、流れ込んでくる水に逆らって階段を上がることはできないので、事前に離れましょう。

屋外での避難

無理せず周辺の安全な建物へ

浸水深が50cm以上になると、避難に際して危険を伴うことがあります。無理せず、周辺の安全な建物へ避難しましょう。

自動車での避難は控えて

自動車での避難は緊急車両の通行や水防活動の妨げになる場合がありますのでやめましょう。

マンホールや側溝に注意

避難は動きやすい服装で、2人以上での行動を心がけ、移動時はマンホールや側溝に注意しましょう。

高齢者などの避難に協力を

高齢者や子ども、傷病者など要配慮者は、早めの避難が必要です。周囲の方々は避難に協力しましょう。